

学校名 鴻巣市立鴻巣南中学校
所在地 鴻巣市原馬室3685
電話 048-542-2861

1 本校の概要

本校は今年度、創立30周年を迎えた。鴻巣市の南部に位置し、田園地帯に囲まれた緑豊かな学校である。「志を立てて未来を拓く南中生」を学校教育目標に掲げ、日々の教育活動に取り組んでいる。学校行事や部活動が盛んであり、学校生活に大変意欲的な生徒が多い。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

学校図書館等の環境の工夫

(2) 実践の概要

ア 読書感想文コンクールに向けての取組

青少年読書感想文全国コンクールに向け、本校では毎年、夏季休業中に全生徒が読書感想文の課題に取り組んでいる。図書の選定、話題の柱立ての整理、文章構成等を指導し、必ず全員が書き上げられるよう指導している。また、過去の優秀作品を継続的に図書室廊下側壁面に掲示し、感想文の書き方の模範例を目にする機会を増やしている。



イ 図書委員会による活動

本校では、図書委員会を宣伝部、広報部、整理部の3つの部会により組織している。ポップカードや掲示物、「学校図書館便り」による新着図書の紹介、生徒の興味を引くような特設コーナーによる図書のレイアウトをし、それが継続的なものとなるよう工夫している。新規図書の購入に際しては、全職員、生徒に定期的にアンケートを実施し、集計した上で購入する図書を選定している。



ウ 学年文庫の設置

図書の貸し出し、返却の煩わしさを解消し、図書を身近なものに感じられるようにするため、各学年のフロアに3つの学年文庫を設置し、300冊以上の図書を常設している。生徒会から図書委員会に配当されている予算により、新古書店から図書を安価で購入している。貸出、返却、整理は生徒の「マナー」により順調に運営されており、総合的な学習の時間の「チャレンジタイム」や自習時間、休み時間に活用されている。



3 成果と今後の課題

2(2)の活動により、生徒の読書意欲は向上し、図書室の利用も増えつつある。

今後の課題としては、①さらなる「図書室利用率の向上」と、②「学習センターとしての図書室の充実」が挙げられる。①については、現在の取組の継続により、実現可能と思われるが、②については、各教科の先生から授業で図書室を活用していくためのニーズを集約し、それに対応するための工夫をしていかななくてはならない。そのため、将来的には司書の配置が望まれるが、それがかなわぬ間、当面は、国語科教員に限らず、様々な教科の教員が図書室に関わる校務分掌を担当するなどの考え方の転換も必要である。